

概要

■開催期日：平成29年1月10日(火)
16時30分から17時15分

■開催場所：一宮市立市民病院 南館11階講堂北

■出席委員	北村 邦朗	院内	専門	医師	血液内科副院長
	阪井 満	院内	専門	医師	外科部長
	山村 益己	院内	専門	薬剤師	薬剤局長
	伊藤 宏樹	院内	専門	医師	神経内科診療局長
	宮原 健	院内	専門	医師	心臓血管外科診療局長
	岩花 あけみ	院内	専門	看護師	看護師長
	長谷川 裕史	院内	非専門		事務局長
	中村 高規	院内	非専門		管理課長
	伊藤 敏幸	院内	非専門		業務課長
	高瀬 裕男	院外	非専門		木曾川事務所・総務管理課長
	平松 幹啓	院外	非専門		行政課長

■審議内容

(1) 新規臨床研究の審議結果(本審査にて承認)

□課題名：非弁膜性心房細動を有する後期高齢者を対象とした前向き観察研究

■報告内容

(2) 新規臨床研究の審議結果<報告>(迅速審査にて承認)

□課題名：IFN-free 経口抗 HCV 剤治療に係る公費助成を受けた C 型肝炎患者に関する全国規模のデータベース構築

□課題名：悪性胸膜中皮腫に対するカルボプラチンの有用性の検討

□課題名：肺がん化学療法の制吐療法におけるデキサメタゾン減量の有用性の検討

(3) 試験実施計画書の変更に係る実施継続の迅速審査結果報告<報告>(迅速審査にて承認)

□課題名：フッ化ピリミジン系抗癌剤を含む初回治療に抵抗性を示した切除不能または進行再発胃癌に対する早期減量を考慮した二次治療としての nab-paclitaxel 単独療法の臨床第 II 相試験

(4) 1年毎の再審査<報告>(迅速審査にて承認)

□課題名：初発慢性期の成人慢性骨髄性白血病に対するニロチニブとダサチニブの分子遺伝学的完全寛解達成率の多施設共同前方視的ランダム化比較試験

□課題名：急性前骨髄球性白血病に対する亜ヒ酸、GOを用いた寛解後治療-第 II 相臨床試験
-JALSG APL212 (APL) : A Phase II JALSG APL212 Study

□課題名：65歳以上の急性前骨髄球性白血病に対するATOによる地固め療法-第 II 相臨床試験
-JALSG APL212G

□課題名：小児および若年成人におけるT細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第 II 相臨床試験 (JPLSG ALL-T11/JALSG T-ALL-211-U)

- 課題名：成人precursor T細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法による第Ⅱ相臨床試験（JALSG T-ALL213-O）
- 課題名：成人Burkitt白血病に対する多剤併用療法による第Ⅱ相臨床試験（JALSG Burkitt-ALL213）
- 課題名：成人フィラデルフィア染色体陰性 precursor B 細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法による第Ⅱ相臨床試験（JALSG Ph(-)B-ALL213）
- 課題名：イマチニブで分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験
- 課題名：化学療法治療期間中における食事非加熱食制限の必要性に関する検討
- 課題名：胃癌術後患者を対象としたOral nutritional supplementsの有効性に関する多施設共同臨床試験
- 課題名：StageⅣ胃癌切除例を対象としたカペシタビン+シスプラチン（+トラスツズマブ）療法の忍容性試験
- 課題名：StageⅠ胃癌に対する胃全摘術におけるアプローチ別のQOL評価
- 課題名：胃全摘術における再建法別の長期的QOL評価についての研究
～Roux-Y再建とAboral pouch再建の比較～

（5）臨床研究の終了報告

- 課題名：血液疾患患者でのポリコナゾール投与後に閉眼時のみの幻視をきたした症例の調査
- 課題名：ダルベポエチンアルファによる非糖尿病性慢性腎疾患患者の透析導入延長効果に関する検討